

市報

とおがまち

1 / 10
January

編集発行 / 十日町市役所(電話約7-3111) 毎月10日 / 昭和32年6月5日第3種郵便物認可(1部6円)

□267号□

正月様
 正月さまのついでにのめいしてやうな
 かみのかみからごきつじやうた
 紅のうしな(赤)魚に
 白のうしな(白)魚(御飯)
 油のうしな(油)
 柿、栗、もちまへへ〜

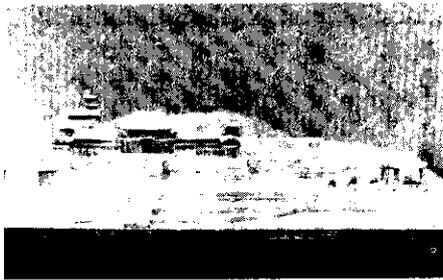
(赤魚のわらべ唄)



とて保存してください

迎春

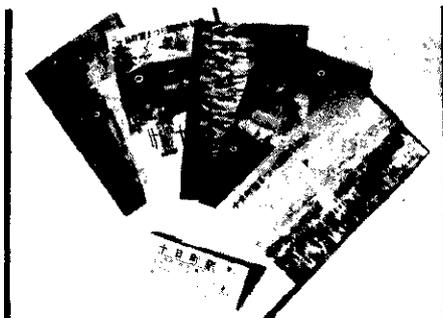
【正月様のわらべ唄.....赤魚には正月様の唄が残っています。正月の神様が、高い所からやってきて待望のお年玉をくれるというのです。それは、紅い魚と白い御飯と油のような酒・柿・栗・もちだといひます。今思えばささやかな贈物です。これを無上の楽しみに待っていた昔の人たちのつつましい生活ぶりがこのわらべ唄を通して伝わってきます。】



雪上舞台は “鳳凰堂”

雪上舞台のデザインができあがり、舞台づくりは雪降りを待つばかりです。今年のデザインは、飯林織物(株)専務の飯塚吉司さんが担当し、間口70m、奥行30m、高さ18m、の壮大な舞台です。

記念入場券を発売(国鉄)



飯山線十日町駅では、30回雪まつりを記念して入場券を発売します。一セット5枚組で400円です。2月10日から同駅で発売します。ご希望の方は同駅で購入するか、400円と返信用封筒(切手を貼って)を同封して申し込みたいください。

雪まつりタバコ
〈セブンスター〉
発売



雪まつり写真集
「白い愛の祭典」
発売



多彩な企画 白い愛の祭典 三十回雪まつり

雪まつりの準備が進んでいます。メインになる雪上カーニバルのステージは、平等院鳳凰堂を模した「鳳凰堂」と決まり、模型、設計図も完成しました。間口七十メートルの壮大な舞台です。「ひろば」もコミュニティ広場(十高)、ふるさと広場(十日町小)、くらしの広場(加工部跡地)など五つの広場を予定しており賑やかなものになります。十日町駅では、記念入場券が発売され、写真集「白い愛の祭典」も発刊されます。多彩な三十回雪まつりの概要をお知らせします。

雪まつりの準備は、昨年の六月から始められました。実行委員会(委員長山内止豊)を組織し、企画宣伝部会(実施計画の立案)、事業部会(行儀事の計画)、協賛事業の連絡調整、ひろば部会(ひろばの企画製作)カーニバル部会(カーニバルの企画演出)、雪の芸術展部会(雪

像の製作審査)、サービス部会(交通、警備、輸送、宿泊)の六部会で綿密な計画がたてられています。

雪上カーニバル
宇治平等院鳳凰堂を模してつくられた舞台は、間口七十メートル、高さ十八メートル、奥行三十メートルとこれまでにない壮大なものです。サ

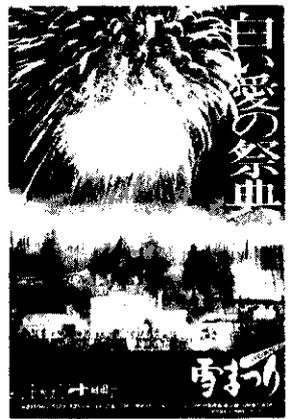
ブ舞台をつくり、太鼓を打つ位置もセットされています。デザインは飯林織物専務の飯塚吉司さんの手によるものです。

この舞台で二月十日夜、「日本の四季」をテーマにして、四十六名のモデルによるキモノショー、小野満とスイングギター・ズの生演奏、デュークエイセス岸洋子らの歌、雪上花火、紋紙焼納などが豪華絢爛に繰り広げられます。総合同会はNHKの山川静夫アナウンサーで、この模様はNHK番組「奥さまごいっしょに」(午前八時四十分〜九時三十分)で全国放送の予定です。産地のきものPRがNHK番組に組み入れられると

あつて担当の織物組合青年部会(田村甲部会長)では大張り切りです。

ひろば
雪まつりを盛りあげるもう一つのもは楽しい広場です。

今回の広場は五方式です。コミュニティ広場(十日町青年会議所十高グラウンド)ふるさと広場(ふるさと広場実行委員会十日町小グラウンド)くらしの広場(十日町農協高田町織物組合加工部跡地)愛とロマンの広場(立王交成会宇都宮グラウンド)それに陸織物十日町工場跡地(職労要請中)です。それぞれの広場では町内や団体、家族ぐるみで雪の芸術作品を製作して、一緒に広場づくりに参加して下さる方を求めています。



ポスター

雪まつりのおこり

第一回の雪まつりは、昭和二十五年二月です。母体になったのは十日町文化協会でした。きっかけは、この会の会長、高橋喜平さんが、昭和二十二年の秋に、柏崎で天皇陛下に、雪についてのお話を申しあげた際に、陛下から「何か雪国を明るくするような話はないですか」とご下問がありました。その時、高橋さんはスキーのことを申しあげたのですが、当時はまだスキーを楽しんでいるのは暇と金のある人達で、一般庶民は雪のための暗い生活から一歩もぬけ出ていなかっただけです。それに気づいた高橋さんは、文化協会の仲間と雪国の雪の中で、雪を敵にまわさずに、雪を友にする楽しい催し物はないかと考えたのです。そこで、子供

が雪だるまや雪玉を作って楽しむように、大人が雪で彫刻を作ってみたらどうだろう。ましてや十日町は絹織物の産地で、そういうセンスの持ち主は大勢いる。このようにして雪に親しむことができたなら、それは雪国を明るくする基本になると考えたので、そして第一回が始まり、街には作品があふれ、雪中カーニバルも行われ、一等賞品は食糧不足を反映した白兔が出されました。最初から市民参加の手づくりのまつりだったので、

から 可愛い小羊へ



ことしのえと(干支)は羊です。えとは昔、中国で十千十二支を組みあわせて六十の周期で日や年月を数えたものですが、十二支に、動物をあてはめたのは後代になってからのことだそうです。

昭和三十年生れの若い親羊と元気な小羊に登場してもらいました。すくすくと伸びくと成長して欲しいものです。

今までの羊年は、比較的平穏な年が多かったようです。今年一年も、景気が回復し良い年であることを期待します。



阿部 忠男 さん 四日町

光子 さん

慈美 ちゃん (二歳九カ月)

忠男さんと光子さんは職場結婚。ともに羊年生まれの若い夫婦です。"イツチャン"には、女の子だから、やさしくて、愛敬のある女の子になって欲しいと願っています。川西町に素晴らしい体育館ができたのでスポーツ人口の多い十日町市にも欲しいなと思っています。

羊年はこんな年でした

明治4年(1871)

・官営の郵便制度始まる ・廃藩置県(新潟、相川、柏崎の3県に) ・戸籍法が制定される ・断髪、廃刀

明治16年(1883)

・頸城自由党員が逮捕され、高田事件が起こる 県会議事堂落成

明治28年(1895)

・日清講和条約締結 ・三国干渉 ・電信取扱開始
・中条村にチフス看者(45名中9名死亡)

明治40年(1907)

・北越鉄道国有となり信越線と改称 ・株式市場暴落 ・足尾銅山暴動、軍隊出動 ・十日町梁織学校 県立に移管

大正8年(1919)

・普選運動各地に拡大 ・ヴェルサイユ条約調印

昭和6年(1931)

・上越線全通 ・満州事変発端 ・北海道東北で大飢饉 ・イネの農林1号完成 ・NHK新潟放送局開局

昭和18年(1943)

・第1回学徒出陣 ・25歳未満の未婚の女子を女子勤労挺身隊として動員決定 ・徴兵適令1年引下げ
・学童疎開受け入れ ・山本元師戦死 ・十日町実科高等女学校、高等女学校に昇格

昭和30年(1955)

・社会党統一 ・自由民主党結成 ・新潟市大火1,126戸焼失 ・下条村合併 ・十日町商工会議所発足 ・中山龍次氏胸像除幕式

昭和42年(1967)

・飯山線全線気動化 ・上越線複線化完成 ・商工福祉会館完成 ・姿大橋完成 ・勤労青少年ホーム完成

—吉田山谷—

丸山 由紀子 さん
和佳子 ちゃん(1歳6カ月)

隣部落の小泉から嫁いできた由紀子さんは織物組合に勤めていて、共稼ぎです。"カツコちゃん"には、"腕白でもいい、強くなって欲しい"と願っています。女の子だけど、学校に行くまでは泣かされたらいじめかえすくらいの子に育てるつもりです。

雪、道路、物価、景気の問題に関心があります。

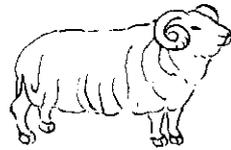


阿部 玲子 さん 本町四

廣子 ちゃん(二歳二カ月)

"ヤツチャン"は町内の人気者です。今日(二月十日)弟(妹?)が生まれる予定なのです。そしたら母子とも羊年生まれです。玲子さんは青年学級で旦那さんと知り合いました。だから十日町市にも青年のために青少年研修センターみたいなものがあるといいなと思っています。

羊年のお母さん



真霜 貴美子 ちゃん
錦町三

一月一日生まれです。

1月1日午前4時42分、十日町病院で3,3758の元気な赤ちゃんが生まれました。真霜勝夫さん、しづさんの二番目の赤ちゃん、貴美子ちゃんです。

「健康で、やさしくて、ほらかな家庭的な女の子」に育って欲しいと両親は望んでいます。



桑原芳子さん 一徹柄沢一
和司ちゃん(3歳2カ月)
政司ちゃん(1歳8カ月)

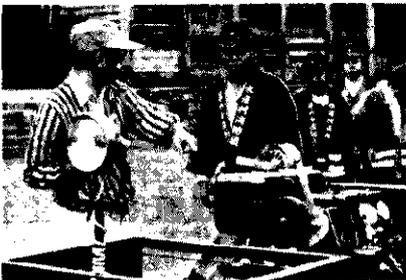
18歳の時、中里村倉俣から嫁いできた芳子さん。今は2兄の母親です。出機を織っています。やんちゃな2人を保育所にやりたいのですが近くにないので、せめて野中あたりにできればと思っています。冬になると旦那さんが通えなくなるので冬期の交通確保は切実な願いです。



イラスト・鈴木 蘭



写真・樋口 信二



写真・庭野 泰明



マンガ・十高漫画研究クラブ

今年もがんばります

◎ 広報協力員 ◎

小林 ケイ子 さん 一城之古一
貴 幸 ちゃん(一歳四カ月)

「タカちゃん」はワンパクで、一時もじっとしていません。子供が自由に遊べる広場がないので、安心していられる公園が欲しいと思っています。嫁いでくるまで田んぼには入ったこともなかったのですが、夏になると農業にファイトを燃やす旦那さんと田んぼや畑にです。



中 町 寛 子さん一貝之川一
めぐみちゃん
(1歳7カ月)

寛子さんは、中条菅沼から嫁いできました。学校も駅もバスも近くで良い所だと嬉んでいます。「メーチャン」は「パータン」「マンマ」と片言を話すようになり、寝る時にはテレビも消せます。この娘のためにも市民本位の行政を望んでいました。



市議会の動き 昭和52年度一般会計決算等を審議

市議会第4回定例会は、12月4日から14日までの11日間開催されました。

この議会では、昭和52年度一般会計歳入歳出決算認定などを含む26議案を審議し、また一般質問は4名の議員が行いました。

審議された主なものは、つぎのとおりです。

■十日町市手数料条例の一部を改正する条例 身分・職業に関する証明、印鑑登録証明、土地証明、住民基本台帳住民票、戸籍の附票の写し又は証明等の手数料が、54年4月1日から100円に引き上げられます。

■市道の認定 市道丸山町2号線他6路線が認定されました。

■固定資産評価審査委員会委員の選任 委員の庭野吉郎氏の死亡に伴い、河部十郎氏を選任することに同意しました。

■昭和53年度一般会計補正予算 歳入歳出それぞれ81,590千円を追加し、歳入歳出予算の総額を6,645,405千円としました。

■一般質問の主な内容
橋本貞一議員（建設行政について、農林行政について、教育行政について、市民の声について）
小林辰雄議員（大型店問題について）
大島清松議員（都市計画について、保健行政について、市政一般について）
小宮山達男議員（昭和54年度予算編成方針について）



戦前・戦後を通じて、米は不足がちなものでした。しかし、昭和四十二年からは、それまでの農地の基盤整備や、稲作技術の改善などの成果が実を結び、米の生産は著しく向上しました。一方米の消費は、食生活の多様化などにより三十七・三十八年頃から減少してきています。

伸びなやむ需要

そこで、もう少し詳しく最近の米の需給動向をみると、需要

一方生産については、四十六年以降の米の生産調整及び稲作転換対策がほぼ順調に実施されおのおの単年度需給が均衡する水準で推移してきました。しかし、四十九年以降根強い稲作志

昨年は作柄が史上最高

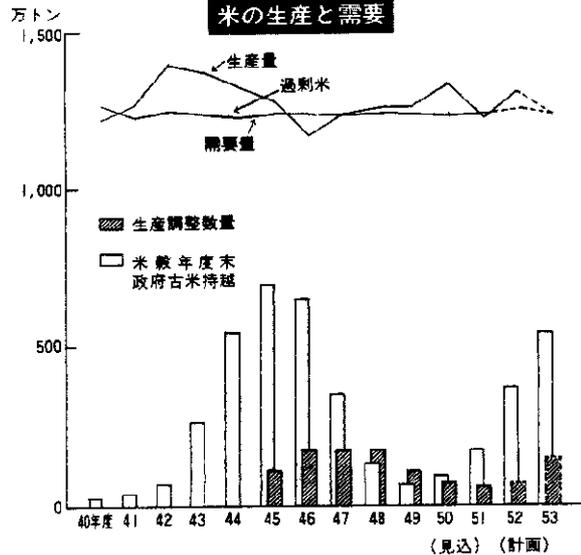
向の強まりから、稲作作付面積は増加に転じました。特に五十二年度は、天候に恵まれたこともあり、生産量は千三百七十七万トンに達しました。さらに昨年は、作柄が史上最高を記録し、昨年からの開始した第二次生産調整により作付面積十三割減（三十九万千ヘクタール）にもかかわらず、計画生産量千七百七十万トンを八十九万トンも上回る千二百五十九万トンの生産量になるものと予測されます。

お米はわが国の国民的伝統食品として、食生活の中核を占めてきました。しかし、今、生産と消費の需給バランスを欠き、大きな農政問題を引き起こしています。政府も「米の消費拡大運動」など対策を推進しています。そこで、市民のみならず、「お米を見直し」していただくため、十回にわたって情報などをお知らせします。

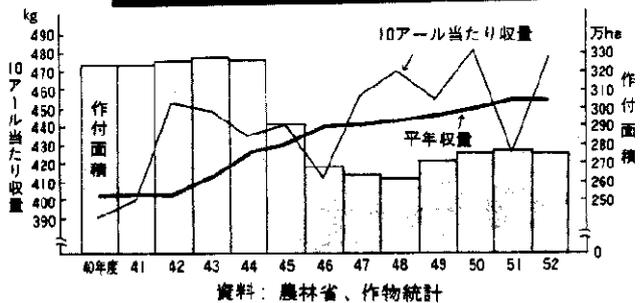
お米を見直しよう

シリーズ No. 1

米の生産と需要



水稻の10アール当たり収量と作付面積



今後の見通しは...

こうした需給事情を反映して五十二年十月末の政府古米在庫は五百七十万トンから大幅に増

たばこ 一むく最終回



フランスの古いマナーブックに、見知らぬ人に話しかけるきっかけをつくるコツとして「たばこの火を借りることが、一番自然かつ初対面の人とのなごやかな人間関係をつくり出すことができる」とある。

「ちよっと火を拝借……いや、ありがとう、とときに、きょうはまたいいお天気で……。といったあんばい。たしかに、長旅の途中隣り合わせた人と肩のこらない世間話などは始める場合、火を借りるという方法は効果的にちがいない。

だが、かならずしもこの方法がいいことばかりとは限らない。時代劇によく出てくるシーンのように、松並木の街道筋を歩きながら「卒園ながら火をお借り申す」と近寄って顔を見合わせたとたん「やあ、その方は親の敵、ここで合ったが100年目、いざ尋常に勝負」なんてことになりかねない場合だってあることもお忘れなく……。

加し、七百七十万トンに乘ることは、まわりのないお天気で……。といった今後の見通しとしては、当分の間、生産については水田利用の再編対策を推進し、需要については米消費拡大の諸施策を講じて需要均衡をはかるものと考えられます。

資料：農林省、作物統計

“天神林”の ルーツを探る...

— 十日町青年学級郷土コース —
〈市公民館本館〉

十日町青年学級が開校されて三十年を経た今日、その当初の顔がらずつと続いて来ているのが郷土コースです。妻有に生きるために「妻有」の学習をして来ました。昔も今も郷土を学び、郷土を愛し、郷土の中で郷土のことを少しづつ理解してゆく。それが時には民俗学であったり考古学であったり、社会学であったり——とにかく長い歴史のある青年学級の中でもとりわけ中核的なコースともいえるものでしょう。その郷土コースは昨年から「天神林」の研究を始めました。この地方では誰もが聞き、語った事のあるものと思えますが、講師に大島伊一氏（市内水野町）を迎え、専門的分野での研究がなされています。

天神林楽譜 (十日町市街地のもの)



市内でも、この「天神林」は地域によって謡い方が異なったり、あるいは又、この「天神林」が謡われている地域の分布も実に興味深いものがあることをご存知でしょうか。この調査にあ

たっては、その分布調査は勿論その源流を深る調査など、古い文献を数多く掘りおこしながら研究し、遠くは長野県の南部まで足を運びました。ようやくこの市内を除く調査も一段落し、今はそれらの調査のまとめと、市内の調査との平行した研究が進められています。

「天神林」を謡ってくれる人を捜し、そして一升ビンを脇にかかえ、テープを持って各地域のそれを集録して歩きます。一週間一度のコース学習日だけでは時間的に足りず、夜あるいは日祭日を使っての調査。歴史というものに背を向けた若者が多い現代社会の中で、こうして郷土を自らの課題として考え、研究している若者達。確かに少ない人数（五人）であるけれども今はこの「天神林」の研究を始めて二年を過ぎようとしている

「天神林歌詞」
日出度いものは大根種、
花が咲き揃うて実のやれば
候かきさなる
御門の上の鶯が、
これの但那様知行や増やせ
増やせとさやする
誰が子でござる目見が良い
そばのたれだやら
角やある人の子で候
八幡の森に宿とれば、
宵にや鐘が鳴る
夜明けには森のすがらす

この作業に、自分達自身の尊い価値観を見出し出している様にも思えます。

新しいものばかりを吸収し、古きものへの愛着が薄れてゆく現代社会の風潮。歴史に目を向けなくなつた現代青年の群像。不確実性という言葉がはやっている昨今。忘れ去られようとしているものに目を向け、確実に一歩一歩積み重ねてゆく地道な研究を我々ももう一度、根本的な問題として見つめなおさなければならぬのではないだろうか。

この「天神林」の研究も、今春には成果発表をすることになっていますが、民俗学的に高い評価がなされるものではないでしょうか。そしてまた、市内の天神林を総集して「天神林大会」をも計画していますのでご期待くださいたいと思います。

成人の日を迎えられた皆さんへ あなたも検察審査員に 選ばれます

成人になると選挙権を得るとともに、検察審査員に選ばれることをご存知ですか。

検察審査員制度とは、交通事故、詐欺、窃盗等の犯罪が起きて犯人がつかまつても、検察官が証拠不十分等の理由でその者を裁判にかけず不起訴処分にした場合、この処分が不適当な人の申し立てを聞いて、もう一度事件を調べ直し、検察官の処分が正しいか審査する制度です。

審査員には、選挙人名簿の中からクジで選ばれた民間人一人がなります。皆さんも審査員になったら、国民の代表として審査の仕事を果たしてください。なお、不起訴処分に対する不服申し立てを聞いて、もう一度事件を調べ直し、検察官の処分が正しいか審査する制度です。

からだの不自由な人のために、郵便による不在者投票の制度があります。郵便による不在者投票のできる人は選挙人名簿に登録されている人で下表に該当する人です。これには「郵便投票証明書」が必要です。この「郵便投票証明書」はいつでも発行されています。

統一地方選挙

障害の範囲	障害の程度
*身体障害者手帳をお持ちの人で.....	両下肢障害 1級もしくは 1級もしくは 2級 1級もしくは 2級 1級もしくは 2級 1級もしくは 2級 1級もしくは 2級
*異知事が証明した人	障害の程度が上記に該当する人 特別項症から 第2項症 特別項症から 第3項症
*聴覚障害者手帳をお持ちの人で.....	両下唇障害 特別項症から 1級もしくは 2級 1級もしくは 2級 1級もしくは 2級
*異知事が証明した人	障害の程度が上記に該当する人

手続きの方法は「郵便投票証明書交付申請書」(用紙は選挙にあります)に記入し、身体障害者手帳または戦傷病者手帳を添えて選挙管理委員会に提出してください。なお、この「郵便投票証明書」は有効期間が4ヵ年ですので、すでにお持ちの方も期間をお確かめください。

昭和54年度 十日町市成人式のお知らせ

- 日時 五月十三日(日) 午前十時～十二時
 - 会場 十日町市民体育館
 - 該当者 昭和三十三年四月二日～三十四年四月一日生 までの本市在住者
- *詳細は後日、本人宛にご連絡いたします。



国民年金保険料

口座振替制度をご利用ください

市では、昭和五十四年度から、百六十円) 付加保険料四万三千三百二十円(割引額千八百八十二円) なる保険料は、昭和五十四年四月から、一ヵ月三千三百円に改定されます。

この「口座振替」制度を利用されますと、保険料の割引(年五分五厘)があること、金融機関に出向かなくても金融機関が代行して納入してくれること、年一回の納入で済むこと、振替が済めば、送られてくる領収書を保管するだけでいい等便利になります。ぜひとも、同制度への加入をお勧めします。

- 口座振替の範囲 一年前納保除料
- 昭和五十四年度前納額 定額三万八千六百四十円(割引額九百六十円)
- 取扱い金融機関 第四銀行・北越銀行・大光相互銀行・新潟相互銀行・新潟県信用組合各十
- 手続き 預金通帳とそれに使用している印鑑、年金番号のわかるもの(年金手帳や保険料領収書)を持参して、振替を希望する金融機関(預金口座のある金融機関)の窓口で手続きをしてください。(農協の事業所で振替を希望される場合は、事業所名まで記入してください)
- 取扱い金融機関 第四銀行・北越銀行・大光相互銀行・新潟相互銀行・新潟県信用組合各十

かしこい消費者 54

肉をおいしく食べるために③



とり肉……皮は色及び艶がよく、毛穴がもろあがつているもの、締まりのよいものが新鮮。(低脂肪のタンパク源でコレステロール含量も卵の約半分です。)

部位別名称	使用上の特徴	主な料理の例
手羽肉	脂肪が少ないので味は淡白でやわらかい	焼きもの・いためもの・煮もの・蒸しもの・サラダなど
手羽先	肉は少ないが、ゼラチン質に富む。脂肪も多い	から揚げ・煮こみもの
もも肉	やや硬いが、脂肪がやや多い味にはコクがある	から揚げ・固まりで焼く・カレー・煮込み
ささ身	牛豚のヒレにあたるもの。一本硬いすじがあるので除いて使う	すり身・わんわん・あえもの・さしみ・サラダ

お知らせ

新年の年賀状配達は、市政事務嘱託員とは一切関係ありません(十日町市)

54年度市奨学生を募集

市教育委員会では、昭和54年度の市奨学生を募集します。

応募資格 昭和54年度、高等学校、高等専門学校、短期大学、大学に進学予定または在学中のつぎの各号に該当する人。

- ①本市に3年以上居住する世帯の子弟
 - ②学業成績が優秀と認められる人
 - ③経済的な理由で学費の支弁が困難な人
 - ④心身共に健全な人
- 奨学金の額(月額) 高校・高専(5,000円) 大学・短大(11,000円)

貸与期間 昭和54年4月から、その人の在学する学校の最短修業年限の終期まで

採用予定者数 高校・高専(12名) 大学・短大(8名)

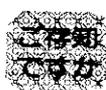
出願書類 奨学金貸与願書、在学学校長推薦書(成績証明書添付) 戸籍謄本及び住民票謄本、医師の身体検査書、前年度所得証明書

書類の届出先 2月20日までに市教育委員会(7-3111内線274)へ

その他 3月下旬に奨学生を決定し、本人に通知します。

寄付ありがとうございます

- 山口昭一(山根) 五万円
- 桑原正治 花・日用品
- ラブドン従業員一同 四万三千五百六十三円
- 上越誦道社員 一万二千四百六十円
- 内藤直義(控木) 千円
- モチノケース 千円
- ロケットリア 三千二百七十八円
- マ場小珠田分校 三千二百七十八円
- ロケットリア 三千二百七十八円
- 三ノ宮 七万一千四百九十九円
- 匿名 一万二千二百二十一円
- 匿名 一万二千五百円
- 匿名 一万六千六百三十一円



衛生施設組合

十日町市・川西町衛生施設組合とは、十日町市と川西町が共同で組合を組織し、ごみの収集・運搬、焼却・埋立、し尿の汲み取り・運搬・処理、し尿浄化槽の清掃・維持管理、火葬場、霊柩車の管理運営を担当している組合です。昭和四十八年十月一日に発足し、満五年過ぎました。仕事の内容は、各家庭から排出された廃棄物(家庭系ごみ)については、計画表に従い収集運搬しています。また、事業に

伴って排出された多量の廃棄物(事業系ごみ)は業者自ら運搬してもらい焼却処理しています。し尿の汲み取りは、各区域担当の業者(許可業者)が、各位の申し込みによって行います。し尿浄化槽は、維持管理清掃の委託契約を結んだ業者が、適時清掃を実施します。なお、区域によって担当業者が異なりますので、申し込みの際おまわりのないようご注意ください。おたがいに、きれいな住み良しい町づくりのため、特段のご協力をお願いいたします。

(十日町市・川西町衛生施設組合事務局長 池田土郎)

停電のお知らせ

一月二十六日(金) 午後一時〜午後四時まで 四日町第一の一部



○米のシリーズをはじめました。今年は、新しい企画をいくつか取り入れます。

○幸のようにおだやかで、落ちついたお正月でした。今年一年間が天災、人災のない平穏な一年であって欲しいものです。

○妻有地方には正月の伝説やわらべ唄がいくつが残っています。今月の表紙は、そのわらべ唄を絵にしてみました。イラストは青年学級の内藤礼子さんです。